

主な成績

2014.2.17

1967年	昭和42年	全国高等学校選手権に初参加 男子2位 女子7位 都道府県対抗大会に4位入賞
1968年	昭和43年	7月 テルアビブパラリンピックに田中義矩が出場
1969年	昭和44年	全日本春季大会で田村重雄が優勝
1971年	昭和46年	第1回中四国選手権大会で1位を独占する
1972年	昭和47年	全国高等学校アーチェリー選手権で男子個人で角井和夫(広島工業)が優勝
1973年	昭和48年	世界選手権の日本選手団団長として北村理事長が参加する
1975年	昭和50年	国体記念大会で河合直美(山陽女子)が優勝 女子総合優勝
1978年	昭和53年	8月 国体記念大会で少年女子団体優勝
1979年	昭和54年	7月 全国高等学校アーチェリー選手権(広島開催)で山陽女子が団体に優勝 女子個人で大道里枝が優勝 8月 国体記念大会で男女総合3位入賞
1980年	昭和55年	7月 全国高等学校アーチェリー選手権で 女子個人で大道里枝が2連覇を高校新記録で達成 10月 栃木国体で正式種目となり男女総合8位に入賞
1982年	昭和57年	10月 島根国体 男女総合8位 少年女子(上森・北・折村)が初優勝
1988年	昭和63年	10月 京都国体 男女総合6位 成年女子の中川さつき(日体大)が優勝 10月 ソウルパラリンピックに藤井成巳・福場道子が出場 藤井成巳準優勝
1989年	平成元年	7月 第35回世界選手権に中川さつきが出場 9月 北海道国体 男女総合7位 少年女子の長見みどり(山陽女子)が優勝 10月 第31回全日本選手権で中川さつきが優勝
1990年	平成2年	10月 第11回北京アジア大会に平末千秋と中川さつきが出場 10月 インカレ 男子で松木裕二(広島電機大) 女子で長見みどり(日体大)が優勝 10月 福岡国体 男女総合3位 11月 第32回全日本選手権で市木玲子(ダイイチ)が優勝
1991年	平成3年	3月 第1回世界室内大会に市来玲子が出場 6月 第12回全日本社会人フィールドで柚崎美智子(鴻池組)が優勝 7月 全国高等学校アーチェリー選手権大会で男子で藤原悟(広島工業)が優勝 8月 第36回世界選手権大会に栗森倫子(近大)が出場 10月 石川国体で初の男女総合優勝 成年女子(長見・正守・平末)優勝
1992年	平成4年	3月 全国高等学校選抜大会で大内愛(山陽女子)が優勝 6月 第13回全日本社会人フィールドで柚崎美智子が2連覇 10月 インカレで長見みどりが優勝 10月 山形国体で男女総合2連覇を達成 少年女子(大内・倉本・内藤)が優勝
1993年	平成5年	3月 第2回世界室内大会に平末千秋が出場 6月 第14回全日本社会人フィールドで柚崎美智子が3連覇 6月 社会人選手権で大内愛が優勝 9月 第37回世界選手権に日本選手団団長として清本理事長が参加 大内愛(ダイイチ)と戸田敦大(日体大)が出場 10月 東四国国体で男女総合3連覇を達成 少年女子(堂免・片山・脇田)が2連覇 少年男子(増長・新谷・竹島)が初優勝
1994年	平成6年	11月 第35回全日本選手権で市木玲子が優勝 6月 第15回全日本社会人フィールドで柚崎美智子が4連覇 8月 インターハイで河崎由加里(山陽女子)が優勝 8月 第14回世界フィールド大会出場に柚崎美智子が出場 10月 第12回広島アジア大会に大内愛と戸田敦大が出場 10月 愛知国体で男女総合4連覇を達成 少年女子(河崎・久保田・仁井田)が3連覇を達成
1995年	平成7年	8月 全国高等学校アーチェリー選手権大会(広島開催)で山陽女子が2回目の団体優勝 参加男女2チーム(女子山陽女子・広大付属 男子可部・山陽)すべてが入賞 8月 第38回世界選手権大会に大内愛が出場 10月 福島国体 男女総合2位 少年女子(植野・岩重・沖本)が4連覇を達成 11月 第37回全日本選手権で大内愛が優勝

1996年	平成8年	6月 第17回全日本社会人フィールドで市木玲子が優勝する
		7月 アトランタオリンピックに清本修が団長として、大内愛が選手として出場
		10月 広島国体で5回目の男女総合優勝 少年男子(坂本・近藤・北風)優勝
1997年	平成9年	6月 第18回全日本社会人フィールドで市木玲子が2連覇
		10月 大阪国体 男女総合7位
1998年	平成10年	10月 神奈川国体 男女総合3位 成年女子の河崎由加里(近大)が優勝
		12月 第13回バンコクアジア大会へ大内愛が出場
1999年	平成11年	9月 インカレで濱野裕二(近大)が優勝
		10月 熊本国体で6回目の男女総合優勝 少年男子(松本・下田・重谷)優勝 少年女子(新谷・木村・福田)優勝
2000年	平成12年	6月 社会人ターゲットで井尻律子がCP部門で優勝
		7月 第17回世界フィールド選手権に 木下和敬(広島県庁) 天神聡子が、天神はCP部門で5位入賞
		9月 シドニーオリンピックに濱野裕二(近大)が出場
		10月 富山国体で7回目の男女総合優勝 成年女子(河崎・宮地・三浦)が優勝
2001年	平成13年	3月 第10回全日本室内選手権に森田由美(テオテオ)が優勝 ワールドゲームス秋田大会に 木下和敬 天神聡子が出場
		9月 第41回世界選手権大会に井尻律子がCP部門で出場
		10月 宮城国体 男女総合5位
2002年	平成14年	6月 第35回全日本社会人選手権で新谷幸子(テオテオ)が優勝
		6月 第31回全日本フィールド選手権CP部門で天神聡子が優勝
		9月 第14回釜山アジア大会に濱野裕二が出場し銀メダルを獲得
		10月 高知国体 男女総合8位
2003年	平成15年	11月 全日本選手権CP部門で井尻律子が優勝
		6月 第36回全日本社会人選手権で河崎由加里(テオテオ)が優勝
		7月 第42回世界選手権に濱野裕二・河崎由加里(テオテオ) 井尻律子が出場 河崎は団体で銀メダルを獲得しオリンピックの出場権を得る
		7月 インターハイで菊地栄樹(広島工)が優勝
		10月 静岡国体 男女総合2位 少年男子(中村・菊地・栗栖)が優勝 少年男子で中村仁(吉田)が優勝
2004年	平成16年	3月 第22回全国高等学校選抜大会で松本彰平(可部)が優勝
		6月 第37回全日本社会人選手権で新谷幸子(テオテオ)が優勝
		7月 世界学生選手権に中村仁(近大) が出場
		7月 世界ジュニアにキャデット部門で図師未希絵(山陽女子中)が出場
		8月 アテネオリンピックに濱野裕二・河崎由加里が出場し男子団体で8位入賞
		9月 インカレで中村仁が優勝する
		10月 第25回社会人フィールドCPの部井尻律子が優勝
10月 埼玉国体 男女総合3位		
2005年	平成17年	3月 第14回全日本室内選手権で図師未希絵が中学生で優勝
		5月 第34回全日本フィールドで選手権CPの部で井尻律子 RCの部で浜沖美紀が優勝
		6月 第38回社会人選手権で森田由美(テオテオ)が優勝
		8月 第23回ユニバーシアードに菊地栄樹(近大)が出場する
		10月 岡山国体 男女総合2位 成年男子(菊地・松本・中村)が初優勝
2006年	平成18年	10月 第26回全日本社会人フィールドCP部門で井尻律子が優勝
		3月 第24回全国高等学校選抜大会で小林史弥(広島工)が優勝
		7月 第9回世界ジュニア選手権に図師未希絵(山陽女子)が出場
2007年	平成19年	10月 兵庫国体で8回目の男女総合優勝 少年男子(小林・松本・炭本)が優勝
		10月 第27回全日本社会人フィールドで浜沖美紀が優勝
		3月 第16回全日本室内選手権で小林史弥が高校生で優勝
		3月 第25回全国高等学校選抜大会で図師未希絵が優勝
		5月 第36回全日本フィールドで選手権で井尻律子が優勝
		6月 第2回全日本キャデットアーチェリー選手権大会で小岩創司(佐伯中)が優勝
		8月 インターハイで図師未希絵が優勝
10月 秋田国体 男女総合6位 少年女子で図師未希絵が優勝		

2008年	平成20年	3月 第26回全国高等学校選抜大会で圖師未希絵が2連覇
		6月 第41回社会人選手権で天神聡子が優勝
		6月 第37回全日本フィールドで選手権で井尻律子が優勝
		7月 世界ユース選手権で圖師未希絵が女子個人で金メダルを獲得
2009年	平成21年	10月 大分国体9回目の男女総合優勝 少年男子(大田・村田・小岩)が優勝
		3月 第10回世界室内選手権に矢田貝静江(テオテオ)が出場
		9月 第45回世界選手権に菊地栄樹(テオテオ)が出場
2010年	平成22年	10月 新潟国体 男女総合6位 少年男子(大田・村田・小岩)が優勝 成年男子個人で菊地栄樹が優勝
		10月 第51回全日本選手権で菊地栄樹が優勝
		6月 第43回社会人選手権で菊地栄樹が優勝
		6月 第5回全日本キャットアーチリー選手権大会で岡本靖寛(佐伯中)が優勝
		8月 第1回世界ユースオリンピックに小岩創司(佐伯)が出場
		11月 第16回広州アジア大会に菊地栄樹が出場
		12月 広州アジアパラリンピックに川崎好美が出場
2011年	平成23年	10月 千葉国体 男女総合2位 成年男子(菊地・大田・小林)が優勝
		6月 第44回社会人選手権で小林史弥(テオテオ)が優勝
		7月 第46回世界選手権に菊地栄樹が出場 オリンピックの出場権を得る
		8月 第12回世界ユースアーチリー選手権に中村翔(広島工)が出場し団体ジュニア新記録を作る 河田悠希(佐伯中)は予選でキャット日本新記録を樹立
		8月 ユニバーシアードに大田昌平(近畿大)が出場し団体銀メダルを獲得
		9月 インカレで大田昌平が優勝
2012年	平成24年	10月 山口国体で10回目の男女総合優勝 成年男子(大田・小岩・戸田)が優勝 少年男子で中村翔が優勝
		6月 第41回全日本フィールドで天神聡子が優勝
		8月 インターハイで松本彩音(吉田)が優勝
		8月 ロンドンオリンピックに菊地栄樹(エティオン)・石津優(テリカウイング)が出場し団体6位となる
		8月 第23回世界フィールドに天神聡子が出場
2013年	平成25年	10月 岐阜国体で11回目の男女総合優勝 少年男子で河田悠希(佐伯中)が優勝
		10月 第33回全日本社会人フィールドで石津優が優勝
		6月 第42回全日本フィールドで河田悠希(佐伯)が高校生で優勝
		10月 東京国体で12回目の男女総合優勝 少年女子(小城・山本・吉山)が優勝 成年男子で菊地栄樹が優勝